

No.21 ともに支え合う地域づくり〈地域福祉〉 （健康福祉課）

令和5年度までにめざす姿

- ①地域全体で支え合う仕組みづくりを目指します。
- ②安心感と生きがいを持ち、生涯現役で活躍できる地域づくりを進めます。
- ③地域の課題を「他人事」ではなく、「わが事」としてとらえ、住民が主体的に課題を解決できる地域づくりを進め、必要なサービス等が円滑に利用できるよう、相談窓口体制を充実します。

令和元年度にめざした成果

- ①地域福祉計画の改定に向けた現状把握を行います。
- ②ボランティア養成や活躍の場の確保に取り組みます。
- ③地域包括支援センター等関係団体との連携を密にし、相談事項に適切に対応できるよう体制の強化を図ります。

令和元年度にめざした活動

- ①福祉計画策定に向け地域、各種団体等のヒアリングを通じ地域の現状把握と支え合いの機運醸成を行います。
- ②社会福祉協議会が実施するボランティア養成講座等に協力し、あいのわ銀行をはじめとする活動の場を周知します。
- ③相談支援を行う専門職の連携に努め、町内外の相談できる機関について住民への広報を行います。

令和元年度の成果

- ①地域、各種団体等のヒアリングを実施しました。（13団体、5地域）
- ②支え合い講座に職員が講師として協力しました。
- ③ちらし(南部町専門相談窓口一覧)を作成し、周知に活用しています。

令和元年度の問題

少子、高齢化、人口減少に伴い地域や家庭の力は弱まり多様化することが困難になっています。
周囲への「少しの気づき」「できる範囲での支え合い」の必要性やそれを可能にできる仕組みづくり(体制)をみんなで考える必要があります。

令和2年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

いきいきサロン、100歳体操、支え愛マップ作成など、地域における支え合い活動が継続できるように専門職を活用した後方支援を行います。

(2) 解決すべき問題への方策

地域福祉計画策定を通じ、地域における支え合いの機運や仕組みづくりを検討します。

(3) 新たに取り組む方策

役場の各課、各地域振興協議会、その他関係機関等と連携し地域の課題と現状や支え合いに必要な仕組みづくりについて協議します。